

自己評価の実施及び公表に関する報告書(令和6年度実施分)

令和 7年 2月 10日

事業所名	発達支援ルーム みふあそ
事業	児童発達支援 放課後等デイサービス・保育所等訪問支援
住所	広島市南区西旭町 14-24
電話番号	082 - 255 - 5805
担当者職・氏名	児童発達支援管理責任者 野中美志

項目	内容	実施時期	特記事項
保護者等による評価	利用する障害児の保護者等を対象としたアンケートを実施する。	令和 6年 12月	
従業者による評価	事業所の従業者による自己評価を行う。	令和 6年 12月	
訪問先施設による評価 ※ 保育所等訪問支援のみ実施すること。	実際に訪問支援を受け入れる保育所等による評価を実施する。	令和 年 月	
事業所全体による自己評価	保護者及び従業者による評価の結果を踏まえて、事業所全体で自己評価を行う。	令和 7年 1月	
	職員間で認識が共有された課題については、改善に向けた具体的な見通しや取組を検討する。	令和 7年 1月	
自己評価結果等の公表	自己評価結果等をインターネットその他方法により公表する。	令和 7年 2月 (公表方法 事業所内掲示 HPへの掲載)	
	保護者等の評価(アンケート)結果を保護者等にフィードバックする。	令和 7年 2月	

※ 公表した自己評価結果を添付してください。

※ 令和6年2月14日(金)までに提出してください。期限内に報告が難しい場合は、報告予定日を速やかに連絡してください。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム みふあそ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 6日		～ 令和7年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 6日		～ 令和7年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童指導員、作業療法士、言語聴覚士が在籍している為、専門性を活かした療育を提供できる事が強みです。	療育は担当制にしていな為、色々な視点で評価を行っています。	評価した結果をスタッフ全員で共有し、療育に活かしていける様にしていきたいです。
2	個別療育を行っている為、児とスタッフとがマンツーマンで関わる事ができています。	不安の強いお子さまには固定のスタッフが療育に出て関係構築を行い、徐々に関わるスタッフを増やしていく様になっています。	お子さまの困り事等をしっかり評価し、個別療育の強みを活かした関りをおこなっていきます。
3	感覚統合理論を取り入れた療育支援を行っている。	児の感覚面の評価を行い、生活場面や集団場面でのどの様に影響しているかを考えながら療育の組み立てを行っています。	自己研鑽や事業所内で勉強会等を行い、より良い支援を行える様に取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様と情報共有する機会の少なさを感じている。	フィードバックの時間の短さや次の療育に出ないといけない場合もあり、時間を取って話をする事ができていない。	療育の途中でスタッフを変更する等、保護者様と情報共有する時間を確保する等、検討していきます。また、児発管や管理者から保護者様に声掛けを積極的に行っていく様にします。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ルーム みふあそ（児童発達支援）						公表日	令和7年 2月 10日	
						利用児童数	48名	回収数	20件
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>				床が絨毯なので気になる。	掃除の回数を増やし、清潔で心地よく過ごせる様に環境を作っていきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>						
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				<input type="radio"/>			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				<input type="radio"/>			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>				月に1度、面談があっても良いと思います。	定期的に行っていませんので、検討させていただきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	<input type="radio"/>				兄弟も参加できるイベントがあってもいいと思います。(クリスマス、ハロウィン等) 兄弟が活動の間、待てる場所があったらいい。	イベントの開催が出来ていませんので、保護者様や子ども達が交流できるイベントを検討させていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○				電話でしか連絡が取れないため、アプリやメール等で連絡が取れるともっと便利です。	電話以外の連絡ツールを検討させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				毎回楽しみにしており、感謝しております。とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	○					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルーム みふあそ（児童発達支援）				公表日	令和7年 2月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		療育室と個室を使い分けながら療育を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		マンツーマンで療育を行っており、状況に合わせてサブのスタッフを付けて対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		個室には色紙を貼って視覚的に分かりやすくしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な掃除を行ったり、年末に大掃除を行っている。	古くなったマットやクッションは変更していく様にする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウン等で個室を使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			1回/年保護者様に対して評価を行い、課題等、改善できる様に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個人面談や事業所内研修(1回/月)等を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		業務時間内や時間外に研修会や勉強を行っています。内容を録画し、オンデマンド視聴できる様にしている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		療育での様子や知能検査や発達検査の結果等を参考にさせて頂いている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		療育に出ているスタッフに様子等を聞きながら、計画書を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化された評価ツールを使用できていない。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		遊びによって職員間で話し合っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用児にあわせたプログラムを実施している。不安の強い児に関しては、毎回プログラムを変更するのではなく、段階をつけて行っている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		療育に出る職員間で流れや役割分担を話し合っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育に出た職員間で行っている。	担当者同士が都合の合わない時もあるので、改善していきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録用紙は療育の様子や評価内容等を記載する様になっており、都度評価を行っている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		療育後に保護者にフィードバックの時間を設け、お家での様子等をお聞きしている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		療育に出るスタッフや児は児童発達支援管理責任者が出席している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		保護者様から園での様子を伺うのみになっているので、今後は園と事業所でも情報交換していただける様に検討していく	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後に保護者のフィードバックの時間を設け、情報共有等を行っている。			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		年中・年長の保護者様を対象に就学相談会を1回/年行っている。			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時や契約時に行っている。都度、保護者様から質問があれば説明を行っている。			
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			運営規定は待合室に掲示している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からの相談はその都度、対応している。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様からの相談はその都度、対応している。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		電話や書面を通して連絡を行っている。また、法人としてHPでの掲載や新聞の発行を行っている。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかる書庫にて、個人情報の管理を行っている。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状況にあわせて、視覚手段等を用いている。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルの周知ができていないので、待合い室などにファイリングして置く様にしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			避難訓練等当の計画を立案する	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		都度、保護者様からお聞きしている。また、服薬やアレルギーの有無等、現況表に記載して頂いている。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	/	/		食事の提供を行っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故が起こってしまった際は、再発防止に向けて現場検証や対応策を検討している。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		1回/年研修を実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		利用児の安全面を事業所内で検討し、その後保護者様に説明し了承を得てから、計画書に記載を行っている。			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム みふあそ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 6日		～ 令和7年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	155名	(回答者数) 40名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 6日		～ 令和7年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童指導員、作業療法士、言語聴覚士が在籍している為、専門性を活かした療育を提供できる事が強みです。	療育は担当制にしていな為、色々な視点で評価を行っています。	評価した結果をスタッフ全員で共有し、療育に活かしている様にしていきたいです。
2	個別療育を行っている為、児とスタッフとがマンツーマンで関わる事ができています。	不安の強いお子さまには固定のスタッフが療育に出て関係構築を行い、徐々に関わるスタッフを増やしていく様にしています。	お子さまの困り事等をしっかり評価し、個別療育の強みを活かした関わりをおこなっていきます。
3	平日の午前中は不登校児を対象に集団療育を行っており、安心して居れる場所となる様に心がけています。	スタッフが個別で関わる時間や集団活動を取り入れながら行っています。 学校に記録等を送り、事業所の様子をお伝えしています。	学校等と今後も連携を図っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様と情報共有する機会の少なさを感じている。	フィードバックの時間の短さや次の療育に出ないといけない場合もあり、時間を取って話をする事ができていない。	療育の途中でスタッフを変更する等、保護者様と情報共有する時間を確保する等、検討していきます。また、児発管や管理者から保護者様に声を掛け、情報共有を行っていきます。
2	療育回数の少なく、1回/月の利用児が多くなってきている。	1日に受け入れられる定員が決まっている事や、児童発達支援と放課後等デイサービスの複合施設になっている為、受け入れられる人数に限られている。	キャンセルが出た際は利用回数の少ない方を優先にお電話をさせて頂く様にしています。 お家でもできるホームプログラム等を提案させて頂く様にしています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ルーム みふぁそ（放課後等デイサービス）
------	--------------------------

公表日 令和7年 2月 10日

利用児童数

155名

回収数

40件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		環境・体制整備	1	○				・同じ時間に大きい子と小さい子がいた際、同じ作業はしていませんでしたが、違う作業でも早いボールが飛んでくる事があり、危ないと感じた事がある。 ・もう少し広さがあると、体を思い切り動かせると思う。
	2	○				もう少し増えたらいいと思う。	法人全体で検討させていただきます。	
	3	○						
	4	○				ちょっと臭いが気になる。	喚起などをしっかり行っていきます。	
適切な支援の提供	5	○				・療育中、やる気が無い時や注意散漫な時も、頭ごなしに叱る事なく、本人の意思ややりたい事を尊重して、接して下さっています。 ・利用回数が少ないので、十分に理解されているのかといわれると疑問に思う。	保護者様と情報共有を密に行っていきます。	
	6	○						
	7	○						
	8	○						
	9	○						
	10	○					毎回、違う内容を考えてくださっています。	
	11	○				○		
保護者へ	12	○						
	13	○						
	14	○			○			
	15	○				利用回数が少ないので、状況について説明しづらい、相談できる時間も無い。	相談して頂ける様に体制を整えていきます。	
	16	○				相談や質問があっても遠慮してしまう。申し込みして相談の時間を取ってもらおうシステムがあると良い。	困り事等を相談して頂ける体制を整えていきます。	
	17	○						

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				○	アクティビティのお知らせはあるが、値段が高めでまた遠方である為、気軽に参加できるものがあるとありがたい。	参加しやすい料金設定や開催場所の検討を行っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				相談すれば応えてくれるのですが、遠慮してしまう。	保護者様が相談しやすい様に対応を検討しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○	説明はあったが、訓練は分かりません。	各種マニュアルの周知・説明を行える様に行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○				事故が起きた事がないのでわからない。	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				子どもはみふあそが大好きです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				とても楽しみにしています。 とても楽しみにしているが、利用回数が少ないので増やして欲しい。	キャンセルが出た際はご連絡させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				月1回しか利用できず、効果があるのか分からない。 利用回数を増やしてもらいたい。	お家でも取り組める内容をフィードバック時にお伝えして頂きます。 キャンセルが出た際は、ご連絡させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援ルーム みふあそ (放課後等デイサービス)				公表日	令和7年 2月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		療育室と個室を使い分けながら療育を行っている。	高学年児には、やや狭いと感じる事はある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		マンツーマンで療育を行っており、状況にあわせてサブのスタッフを付けて対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		個室には色紙を貼って視覚的に分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な掃除を行ったり、年末に大掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウン等で個室を使用したりしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			1回/年保護者様に対して評価を行い、課題等、改善できる様に取り組んでいく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個人面談や事業所内研修(1回/月)等を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		業務時間内や時間外に研修会や勉強会を行っています。内容を録画し、オンデマンド視聴できる様にしている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		療育での様子や知能検査や発達検査の結果等を参考にさせて頂いている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		療育に出ているスタッフに様子等を聞きながら、計画書を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	標準化された評価ツールを使用できていない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		遊びによって職員間で話し合っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用児にあわせてプログラムを実施している。 不安の強い児に関しては、毎回プログラムを変更するのではなく、段階をつけて行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		療育に出る職員間で流れや役割分担を話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育に出た職員間で行っている。	担当者同士が都合の合わない時もあるので、改善していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録用紙は療育の様子や評価内容等を記載する様になっており、都度評価を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		療育後に保護者様にフィードバックの時間を設け、お家での様子等をお聞きしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中に組み込んでいる。自己決定が難しい際は、選択肢の中から選んでもらう様になっている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		療育に出るスタッフや児は児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			法人内では行っているが、他事業所様等とはできていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			必要を求められたら行っており、事業所からは行っていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後に保護者様のフィードバックの時間を設け、情報共有を行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部主催の研修会の案内等は、待合室に掲示している。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学时や契約時に行っている。都度、保護者様から質問があれば説明を行っている。 運営規定は待合室に掲示している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からの相談はその都度、対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応窓口を設置し対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		電話や書面を通して連絡を行っている。また、法人としてHPでの掲載や新聞の発行を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかる書庫にて、個人情報の管理を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状況にあわせて、視覚手段等を用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアルの周知ができていないので、待合い室などにファイリングして置くようにしていく	マニュアルの周知ができていないので、待合い室などにファイリングして置くようにしていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		今後、避難訓練等を行っていく様に計画を立てていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		都度、保護者様からお聞きしている。また、服薬やアレルギーの有無等、現況表に記載して頂いている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				食事の提供は基本行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故が起こってしまった際は、再発防止に向けて現場検証や対応策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		1回/年研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		利用児の安全面を事業所内で検討し、その後保護者様に説明し了承を得てから、計画書に記載を行っている。		